

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-123	高等学校	数学	数学B	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
104 数研	数B 329	改訂版 新 高校の数学B		

1. 編修の基本方針
<p>(1) 数学を学ぶよさを認識したうえで、できるだけ楽しく学べるように留意した。</p> <p>(2) 学んだ内容や考え方などを生活に生かせるように、また、生活に生かす態度を養えるように留意した。</p> <p>上記(1)、(2)の趣旨を実現するため、以下の3つを基本方針に据えた。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ol style="list-style-type: none"> 1 できるだけ平易な題材によって、基本的な内容の定着がはかれる。 2 動機付けを重視し、数学を学ぶ意義が実感できる。 3 数学を苦手とする生徒でも、楽しんで数学的な考え方が身に付けられる。 </div>

2. 対照表		
図書構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
前見返し	フィボナッチ数列のもつ性質をタイルの写真を使って図解することで、数列のもつ性質を様々な方向から考える姿勢を養えるようにした(第1号)。	前見返し表 右
第1章	ベクトルを用いて平面図形や空間図形のもつ性質について調べることを通じて、物事の真理を色々な手法を使って追及する姿勢を養えるようにした(第1号)。	33 ページ 9 行目 ～34 ページ最終行 46ページ
第2章	ひまわりの種のらせん配列について扱うことで、自然に興味をもつ機会を設けた(第4号)。	81ページ
第3章	エアバッグに関する工場での製品検査を取り上げ、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養えるよう配慮した(第2号)。 全数調査の例として国勢調査について触れ、我が国に住んでいる人々やその構成等に興味をもてるようにした(第5号)。 工場で作られているさいころが不良品でないか考えるという題材を扱い、明確な基準でものごとを判断する力・態度が身につくよう配慮した(第1号)。	106 ページ 3～9 行目 106 ページ 12～16 行目 108 ページ 1 行 目～111 ページ 最終行

	50m 走の記録についての問題において、例題では男子の記録，練習では女子の記録を扱った（第3号）。	112 ページ 10～26 行目
確認問題	本文中の「練習」の反復問題を多く収録し，さらに定着をはかり能力を伸ばすことができるようにした。また，意欲のある生徒が本文の「練習」に追加して取り組めるよう，「もっと練習しよう！」として確認問題のページ数と問題番号を示した（第2号）。	35 ページ (10ページ練習2) ほか，36，47， 72，73，79， 105，113 ページ も同じ
練習，確認問題，問題の答	自学自習もできるように，練習，確認問題，問題全問の答を掲載した（第2号）。	114～118 ページ
全体	本文内に登場する男女のキャラクターは，男女がほぼ同数登場するよう配慮した（第3号）。	全体

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

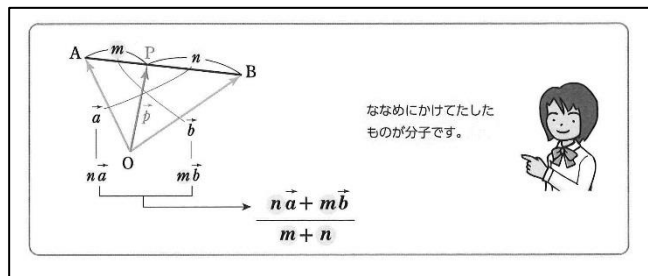
基本方針にのっとり，以下の点に特に意を用いた。

1 できるだけ平易な題材によって，基本的な内容の定着がはかれる。

基本的な内容を厳選し，丁寧に解説するようにした。

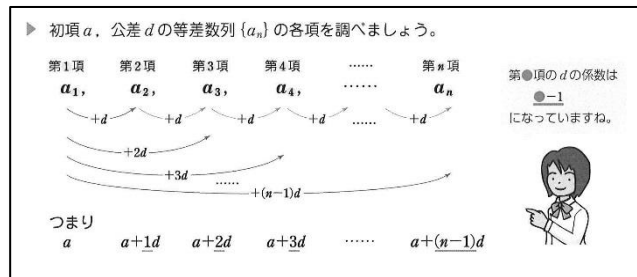
●分点の位置ベクトル (31ページ)

分点の位置ベクトルの式は，誤って覚えてしまう生徒が多いため，大きく図解を掲載し丁寧に説明した。



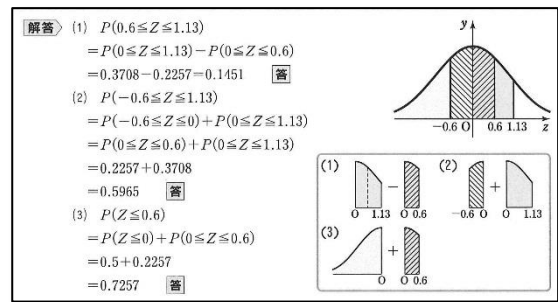
●等差数列の一般項， 等比数列の一般項 (55, 60ページ)

等差数列の一般項，等比数列の一般項において，項の番号と公差の係数や公比の指数との関係を誤って覚えてしまわないよう，その導出過程を図も用いて詳しく説明した。



● 正規分布表を利用した確率の計算 (100ページ)

正規分布表の値を使った確率の計算を解説する際、標準正規分布の分布曲線に関する面積を分割して求める考え方について、色分けした図によって丁寧に説明した。



基本的かつ重要な内容は反復問題を充実させ、演習を通じて定着できるようにした。

● 確認問題 (73ページなど)

「例」や「例題」の反復問題として、「練習」を数多く設けた。さらに、節末に「確認問題」として、反復問題を多く掲載した。本文中の「練習」に、追加すべき確認問題のページ数と問題番号を記載し、意欲のある生徒はさらに演習を積めるようにした。また、確認問題には「まとめ」として、問題をランダムに配置した設問を設け、学習した内容が身についているか確認できるようにした。

本文の練習

練習 24 次の和を求めなさい。

(1) $\sum_{k=1}^{10} (k-1)(k+3)$ (2) $\sum_{k=1}^{10} (k+1)^2$

もっと練習しよう!
p.73 確認問題 12

節末の確認問題

p.69 例題 4

例 14, 例題 4

12 次の和を求めなさい。

(1) $\sum_{k=1}^{10} 2k(k+1)$ (2) $\sum_{k=1}^{15} (k+3)(k+5)$

まとめ 2 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 2.7 2.8 2.9 3.0 3.1 3.2 3.3 3.4 3.5 3.6 3.7 3.8 3.9 4.0 4.1 4.2 4.3 4.4 4.5 4.6 4.7 4.8 4.9 5.0 5.1 5.2 5.3 5.4 5.5 5.6 5.7 5.8 5.9 6.0 6.1 6.2 6.3 6.4 6.5 6.6 6.7 6.8 6.9 7.0 7.1 7.2 7.3 7.4 7.5 7.6 7.7 7.8 7.9 8.0 8.1 8.2 8.3 8.4 8.5 8.6 8.7 8.8 8.9 9.0 9.1 9.2 9.3 9.4 9.5 9.6 9.7 9.8 9.9 10.0 10.1 10.2 10.3 10.4 10.5 10.6 10.7 10.8 10.9 11.0 11.1 11.2 11.3 11.4 11.5 11.6 11.7 11.8 11.9 12.0 12.1 12.2 12.3 12.4 12.5 12.6 12.7 12.8 12.9 13.0 13.1 13.2 13.3 13.4 13.5 13.6 13.7 13.8 13.9 14.0 14.1 14.2 14.3 14.4 14.5 14.6 14.7 14.8 14.9 15.0 15.1 15.2 15.3 15.4 15.5 15.6 15.7 15.8 15.9 16.0 16.1 16.2 16.3 16.4 16.5 16.6 16.7 16.8 16.9 17.0 17.1 17.2 17.3 17.4 17.5 17.6 17.7 17.8 17.9 18.0 18.1 18.2 18.3 18.4 18.5 18.6 18.7 18.8 18.9 19.0 19.1 19.2 19.3 19.4 19.5 19.6 19.7 19.8 19.9 20.0 20.1 20.2 20.3 20.4 20.5 20.6 20.7 20.8 20.9 21.0 21.1 21.2 21.3 21.4 21.5 21.6 21.7 21.8 21.9 22.0 22.1 22.2 22.3 22.4 22.5 22.6 22.7 22.8 22.9 23.0 23.1 23.2 23.3 23.4 23.5 23.6 23.7 23.8 23.9 24.0 24.1 24.2 24.3 24.4 24.5 24.6 24.7 24.8 24.9 25.0 25.1 25.2 25.3 25.4 25.5 25.6 25.7 25.8 25.9 26.0 26.1 26.2 26.3 26.4 26.5 26.6 26.7 26.8 26.9 27.0 27.1 27.2 27.3 27.4 27.5 27.6 27.7 27.8 27.9 28.0 28.1 28.2 28.3 28.4 28.5 28.6 28.7 28.8 28.9 29.0 29.1 29.2 29.3 29.4 29.5 29.6 29.7 29.8 29.9 30.0 30.1 30.2 30.3 30.4 30.5 30.6 30.7 30.8 30.9 31.0 31.1 31.2 31.3 31.4 31.5 31.6 31.7 31.8 31.9 32.0 32.1 32.2 32.3 32.4 32.5 32.6 32.7 32.8 32.9 33.0 33.1 33.2 33.3 33.4 33.5 33.6 33.7 33.8 33.9 34.0 34.1 34.2 34.3 34.4 34.5 34.6 34.7 34.8 34.9 35.0 35.1 35.2 35.3 35.4 35.5 35.6 35.7 35.8 35.9 36.0 36.1 36.2 36.3 36.4 36.5 36.6 36.7 36.8 36.9 37.0 37.1 37.2 37.3 37.4 37.5 37.6 37.7 37.8 37.9 38.0 38.1 38.2 38.3 38.4 38.5 38.6 38.7 38.8 38.9 39.0 39.1 39.2 39.3 39.4 39.5 39.6 39.7 39.8 39.9 40.0 40.1 40.2 40.3 40.4 40.5 40.6 40.7 40.8 40.9 41.0 41.1 41.2 41.3 41.4 41.5 41.6 41.7 41.8 41.9 42.0 42.1 42.2 42.3 42.4 42.5 42.6 42.7 42.8 42.9 43.0 43.1 43.2 43.3 43.4 43.5 43.6 43.7 43.8 43.9 44.0 44.1 44.2 44.3 44.4 44.5 44.6 44.7 44.8 44.9 45.0 45.1 45.2 45.3 45.4 45.5 45.6 45.7 45.8 45.9 46.0 46.1 46.2 46.3 46.4 46.5 46.6 46.7 46.8 46.9 47.0 47.1 47.2 47.3 47.4 47.5 47.6 47.7 47.8 47.9 48.0 48.1 48.2 48.3 48.4 48.5 48.6 48.7 48.8 48.9 49.0 49.1 49.2 49.3 49.4 49.5 49.6 49.7 49.8 49.9 50.0 50.1 50.2 50.3 50.4 50.5 50.6 50.7 50.8 50.9 51.0 51.1 51.2 51.3 51.4 51.5 51.6 51.7 51.8 51.9 52.0 52.1 52.2 52.3 52.4 52.5 52.6 52.7 52.8 52.9 53.0 53.1 53.2 53.3 53.4 53.5 53.6 53.7 53.8 53.9 54.0 54.1 54.2 54.3 54.4 54.5 54.6 54.7 54.8 54.9 55.0 55.1 55.2 55.3 55.4 55.5 55.6 55.7 55.8 55.9 56.0 56.1 56.2 56.3 56.4 56.5 56.6 56.7 56.8 56.9 57.0 57.1 57.2 57.3 57.4 57.5 57.6 57.7 57.8 57.9 58.0 58.1 58.2 58.3 58.4 58.5 58.6 58.7 58.8 58.9 59.0 59.1 59.2 59.3 59.4 59.5 59.6 59.7 59.8 59.9 60.0 60.1 60.2 60.3 60.4 60.5 60.6 60.7 60.8 60.9 61.0 61.1 61.2 61.3 61.4 61.5 61.6 61.7 61.8 61.9 62.0 62.1 62.2 62.3 62.4 62.5 62.6 62.7 62.8 62.9 63.0 63.1 63.2 63.3 63.4 63.5 63.6 63.7 63.8 63.9 64.0 64.1 64.2 64.3 64.4 64.5 64.6 64.7 64.8 64.9 65.0 65.1 65.2 65.3 65.4 65.5 65.6 65.7 65.8 65.9 66.0 66.1 66.2 66.3 66.4 66.5 66.6 66.7 66.8 66.9 67.0 67.1 67.2 67.3 67.4 67.5 67.6 67.7 67.8 67.9 68.0 68.1 68.2 68.3 68.4 68.5 68.6 68.7 68.8 68.9 69.0 69.1 69.2 69.3 69.4 69.5 69.6 69.7 69.8 69.9 70.0 70.1 70.2 70.3 70.4 70.5 70.6 70.7 70.8 70.9 71.0 71.1 71.2 71.3 71.4 71.5 71.6 71.7 71.8 71.9 72.0 72.1 72.2 72.3 72.4 72.5 72.6 72.7 72.8 72.9 73.0 73.1 73.2 73.3 73.4 73.5 73.6 73.7 73.8 73.9 74.0 74.1 74.2 74.3 74.4 74.5 74.6 74.7 74.8 74.9 75.0 75.1 75.2 75.3 75.4 75.5 75.6 75.7 75.8 75.9 76.0 76.1 76.2 76.3 76.4 76.5 76.6 76.7 76.8 76.9 77.0 77.1 77.2 77.3 77.4 77.5 77.6 77.7 77.8 77.9 78.0 78.1 78.2 78.3 78.4 78.5 78.6 78.7 78.8 78.9 79.0 79.1 79.2 79.3 79.4 79.5 79.6 79.7 79.8 79.9 80.0 80.1 80.2 80.3 80.4 80.5 80.6 80.7 80.8 80.9 81.0 81.1 81.2 81.3 81.4 81.5 81.6 81.7 81.8 81.9 82.0 82.1 82.2 82.3 82.4 82.5 82.6 82.7 82.8 82.9 83.0 83.1 83.2 83.3 83.4 83.5 83.6 83.7 83.8 83.9 84.0 84.1 84.2 84.3 84.4 84.5 84.6 84.7 84.8 84.9 85.0 85.1 85.2 85.3 85.4 85.5 85.6 85.7 85.8 85.9 86.0 86.1 86.2 86.3 86.4 86.5 86.6 86.7 86.8 86.9 87.0 87.1 87.2 87.3 87.4 87.5 87.6 87.7 87.8 87.9 88.0 88.1 88.2 88.3 88.4 88.5 88.6 88.7 88.8 88.9 89.0 89.1 89.2 89.3 89.4 89.5 89.6 89.7 89.8 89.9 90.0 90.1 90.2 90.3 90.4 90.5 90.6 90.7 90.8 90.9 91.0 91.1 91.2 91.3 91.4 91.5 91.6 91.7 91.8 91.9 92.0 92.1 92.2 92.3 92.4 92.5 92.6 92.7 92.8 92.9 93.0 93.1 93.2 93.3 93.4 93.5 93.6 93.7 93.8 93.9 94.0 94.1 94.2 94.3 94.4 94.5 94.6 94.7 94.8 94.9 95.0 95.1 95.2 95.3 95.4 95.5 95.6 95.7 95.8 95.9 96.0 96.1 96.2 96.3 96.4 96.5 96.6 96.7 96.8 96.9 97.0 97.1 97.2 97.3 97.4 97.5 97.6 97.7 97.8 97.9 98.0 98.1 98.2 98.3 98.4 98.5 98.6 98.7 98.8 98.9 99.0 99.1 99.2 99.3 99.4 99.5 99.6 99.7 99.8 99.9 100.0

13 次の和を求めなさい。

(1) $\sum_{k=1}^{10} (k+3)^2$ (2) $\sum_{k=1}^{25} (k+4)$

(3) $\sum_{k=1}^{10} (k^2 - k + 1)$ (4) $\sum_{k=1}^8 (2k+1)(k-1)$

復習の内容も掲載し、既習事項とのギャップをなくすようにした。

● 確率 (84, 85ページ, 92ページ)

確率分布の学習の中で、数学Aで学習する確率の内容も適宜扱い、確率分布の内容にスムーズにつながられるようにした。

ある試行において、起こりうるすべての場合の数を N 通り とし、そのおのおの起こることは同様に確からしいとする。事象 A の起こる場合の数を a 通り とするとき、この試行について、事象 A の起こる確率 $P(A)$ は、次のように表されます。

$P(A) = \frac{a}{N} = \frac{\text{事象 } A \text{ の起こる場合の数}}{\text{起こりうるすべての場合の数}}$

2 動機付けを重視し、数学を学ぶ意義が実感できる。

●章とびら

各章の最初に大きな問題提起をすることで、「この章を学ばばこのようなことが解決できるようになる」と実感できるようにした。また、章とびらと同じ題材を本文中の例題などで扱い、「この章を学んで、章とびらの問題を解決できるようになった」と実感できるようにした。

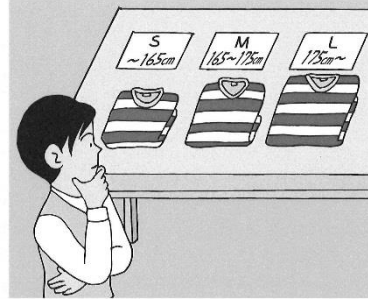
このように、章とびらを通じて、数学を学ぶ意義が実感できるように構成した。

本文の例題 (102ページ)

例題 5 ある高校の3年生男子150人の身長 X cm が、平均 170.7 cm、標準偏差 5.8 cm の正規分布に従っているものとする。このとき、身長が 165 cm から 175 cm までの生徒は、およそ何人いるか求めなさい。

章とびら (82ページ)

高校3年生の男子生徒150人全員に、Tシャツを作って配布します。サイズは全部で3種類用意します。



用意するのにだいたいどれくらい費用がかかるのか事前に調べるため、各サイズのTシャツの必要枚数を、だまかに推測することにしました。

●項目初め (10ページなど)

各項目の初めに「ここで学ぶこと」として項目内で学ぶ内容を示し、学習の目標が明確になるようにした。

また、簡単な導入問題を併設し、単に読むだけでなく作業を通じて学習内容にスムーズに入れるように配慮した。

2 ベクトルの和, 差

右の図で、 O からスタートし、 A を通過して、ゴール地点 C に到達しました。スタート地点 O からゴール地点 C へ向かう矢印を円にかき入れましょう。



POINT

ここで学ぶこと

ベクトルのたし算、ひき算について考えます。数や文字のたし算、ひき算とは違いますが、同じような性質が成り立ちます。

3 数学を苦手とする生徒でも、楽しんで数学的な考え方が身に付けられる。

できる限り身近な例を用い、楽しんで学べるようにした。

●コラム (63ページなど)

日常生活と数学の関わりがわかるようなコラムをいくつか取り上げ、数学が生活に関連していることを実感でき、数学への興味、関心がもてるように配慮した。

第2章のコラムでは、銀行の預金やローンの利息という身近な題材を取り上げ、その計算に等比数列の考え方が利用されていることに触れることで、日常生活と数学との関わりを実感できる内容にした。

コラム + COLUMN +

利息と等比数列

銀行の預金やローンなどの利息は、期限になると元金に含めて、それを次の期間の元金として計算されることがよくあります。

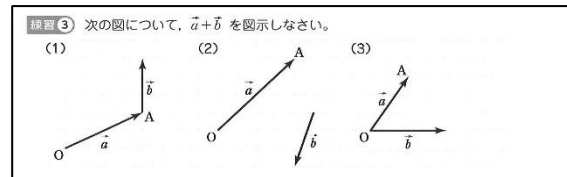
このような利息の計算方法を **複利法** といいます。

年利率8%で100万円借りた場合、1年後には100万 \times 0.08(円)の利息がつくため、元利合計は108万円になります。まったく返済しない場合、

元利合計とは、元金と利息の合計金額のことです。

作業的要素を取り入れた。(11ページなど)

「練習」では、空欄補充や図にかき込むものなど、作業的要素を取り入れた。

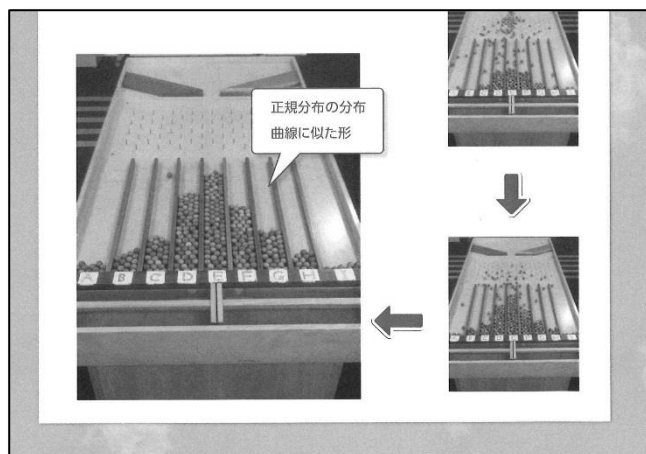


教具を紹介した。

●見返し、コラム (前見返し裏など)

数学を「体験」できる教具を紹介した。

二項分布と正規分布の関係についての見返しでは、等間隔に釘が打ってある台にたくさんのボールを転がしたときの様子を紹介した。ボールの塊が描く曲線を見ることで、二項分布は試行の回数が大きいとき正規分布に近似されることを直感的に理解できるようにした。



4 ユニバーサルデザインに関する取り組み

●色づかい

色覚の個人差を問わず多くの人に見やすいよう、カラーユニバーサルデザインに配慮した。

●文字

副文やふり仮名などサイズの小さい文字を中心に、多くの人に見やすく読みまちがえにくいデザインの文字 (ユニバーサルデザインフォント) を使用した

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-123	高等学校	数学	数学B	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
104 数研	数B 329	改訂版 新 高校の数学B		

1. 編修上特に意を用いた点や特色
<p>1 全般的な留意点</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深めることができるように、既習事項との接続ならびに各学習事項の体系にも留意した。 2 事象を数学的に考察し表現する能力を高めることができるように、用語・記号の定義や本文の説明, 練習問題は, 単純平明で理解しやすい内容を心がけた。 3 知識・技能の習得だけでなく, 数学のよさを認識し, それらを積極的に活用することができるよう, 本文中の例では, 可能な限り生徒に身近で興味がもてる題材になるようにした。また, 章とびらやコラムの内容も生徒の興味を引くような題材を厳選した。 4 数学的論拠に基づいて判断する態度が育つよう, 論理的に誤りや飛躍が無いように記述する一方で, 厳密さに極度に傾倒しすぎず, 数学が苦手な生徒でも読みこなせるような平易な表現にも配慮した。 <p>2 教科書の特徴</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 動機付けをはかるため, 各項目の初めに簡単な導入問題を設けたり, 「ここで学ぶこと」として, その項目の目標などを文章で入れたりした。章とびらでは, その章で解決できる大きな問題提起をして, その章を学ぶ意義がわかる構成にした。 2 本文においてはやわらかな言葉づかいにし, 親しみやすくした。 3 単純平明な例や例題を扱い, 基本概念の理解が容易になるようにした。また, 随時練習問題を設定し, それを生徒が解くことによって内容の定着がはかれるようにした。 4 生徒の意欲に応じ, 問題を追加して練習することができるように, 節末に「確認問題」として, 反復問題を多く設けた。 5 既習事項でも, 必要な場所でその都度詳しく取り上げ, 復習も容易にできるようにした。 6 B5判サイズを生かし, ゆったりとした体裁にした。また, 本文の理解を助けるために, 右横に補足的な説明や図式を補った。 7 本文の全ページを多色刷りとし, 図やイラストも多く用いて, 視覚的にも理解を助けるように配慮した。また, グラフを直接かきこむなどの作業的要素を多く取り入れた。 8 重要事項は枠で囲んだり太字にしたりして, 強調し, 見やすくした。 9 「COLUMN」において, 数学に関する話題を紹介し, 数学に親しみをもてるように配慮した。

10 色覚の個人差を問わず多くの人が見やすいように、カラーユニバーサルデザインに配慮した。また、副文やふり仮名などを中心に、多くの人が見やすく読みましがえにくいデザインの文字（ユニバーサルデザインフォント）を用いた。

3 教科書の構成要素

[（導入の問題）] 項目の初めに、簡単な導入問題を扱った。

[ここで学ぶこと] その項目で学ぶ目標などを示した。

[例] 基本的な具体例や計算例を取り上げた。

[例 題] その項目で扱っている内容の代表的な問題を取り上げた。解答は模範解答とし、必要に応じて手順や説明文を右横に示した。例題は、例とともに学習事項の中核をなすものとなる。

[練習] 例・例題・説明文などが理解できたかを確認するための問題である。学習者自身が解くことを想定している。

[確認問題] 節の終わりにある確認のための問題である。節の終わりにまとめて解いても、本文中の練習に追加して解いてもよい。「振り返ろう！」で本文中の例、例題に戻って確認することもできる。また、「まとめ」として、ひとまとまりの問題をランダムに配置した設問もある。

[問題] 章の終わりにあるやや難しい問題で、A、Bの2段階に分かれている。各問題にはヒントを示し、学習者の負担にならないように配慮した。

[答] 学習者の便宜をはかるため、巻末に練習・確認問題・問題の解答を示した。自学自習などにも活用できる。

[COLUMN] 本文の内容に関連した興味深い話題を取り上げた。

4 各章において配慮した点

第1章 ベクトル 平面上のベクトル／空間のベクトル

理解を助けるため、図や色を効果的に使用し、生徒が直接かきこめるスペースも多く用意した。

第1節では、ベクトルの始点と終点、あるベクトルとその逆ベクトル、成分表示されたベクトルの x 成分と y 成分のように、対比して扱われる2つの事柄について、色や網かけの形などを工夫することで見た目にも区別しやすくし、理解を助けるようにした。また、内積の項目では、数学Iで学習したコサインの値を表で与え、まずは内積の性質の理解に重点を置けるよう配慮した。

第2節では、図を用いた説明を多く盛り込み、理解を助けるよう配慮した。

第2章 数列 数列とその和／漸化式と数学的帰納法

第1節では、等差数列、等比数列の和の公式を使った計算において、数式だけでなく日本語を用いた式も示し、その式の意味を理解しやすいようにした。

第2節では、漸化式や数学的帰納法の中の演繹的な思考部分を図解し、それらの仕組みを理解しやすいように配慮した。

第3章 確率分布と統計的な推測 確率分布／統計的な推測

第1節では、正規分布表の値を使った確率の計算を解説する際、標準正規分布の分布曲線に関する面積を分割して求める考え方について、色分けした図によって丁寧に説明した。

第2節では、標本平均の確率分布から母平均の推定まで一貫して「工場で作られたさいころが不良品であるかどうかを考える場面」を題材とし、数学と実生活との

関わりを感じられるように配慮した。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
第1章 ベクトル 第1節 平面上のベクトル 第2節 空間のベクトル	2 内容 (3) ベクトル ア 平面上のベクトル (ア) ベクトルとその演算 ベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、位置ベクトル及びベクトルの成分表示について理解すること。 (イ) ベクトルの内積 ベクトルの内積及びその基本的な性質について理解し、それらを平面図形の性質などの考察に活用すること。 イ 空間座標とベクトル 座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張できることを知ること。	6～49ページ	37
第2章 数列 第1節 数列とその和 第2節 漸化式と数学的帰納法	2 内容 (2) 数列 ア 数列とその和 (ア) 等差数列と等比数列 等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項及び和を求めること。 (イ) いろいろな数列 いろいろな数列の一般項や和について、その求め方を理解し、事象の考察に活用すること。 イ 漸化式と数学的帰納法 (ア) 漸化式と数列 漸化式について理解し、簡単な漸化式で表された数列について、一般項を求めること。また、漸化式を事象の考察に活用すること。 (イ) 数学的帰納法 数学的帰納法について理解し、それを用いて簡単な命題を証明するとともに、事象の考察に活用すること。 [用語・記号] Σ	50～81ページ	30
第3章 確率分布と統計的な推測 第1節 確率分布 第2節 統計的な推測	2 内容 (1) 確率分布と統計的な推測 ア 確率分布 (ア) 確率変数と確率分布 確率変数及び確率分布について理解し、確率変数の平均、分散及び標準偏差を用いて確率分布の特徴をとらえること。 (イ) 二項分布 二項分布について理解し、それを事象の考察に活用すること。 イ 正規分布 正規分布について理解し、二項分布が正規分布で近似できることを知ること。また、それらを事象の考察に活用するこ	82～113ページ	23

	<p>と。</p> <p>ウ 統計的な推測</p> <p>(ア) 母集団と標本 標本調査の考え方について理解し、標本を用いて母集団の傾向を推測できることを知ること。</p> <p>(イ) 統計的な推測の考え 母平均の統計的な推測について理解し、それを事象の考察に活用すること。</p>		
		計	90